

第9号
児童数 329名
(男189名女140)



のぶっ子

みんなが主役・みんなで学ぶ学校

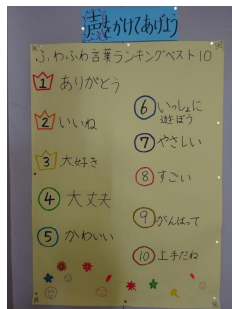
あいことば: あいあい大作戦 スローガン: やさしく かしく たくましく

〒311-2442
潮来市小泉2090

Tel :0299-66-2076
Fax:0299-66-4692
E-mail:nobukata-el@itako.ed.jp
URL:https://www.itako-sch.ool.jp/nobukata-el/



潮来二中生が来校して、6年生に中学校生活についてプレゼンしました。後半はQ & A。班に分かれて疑問等を解消しました。生山ヒジキ先生を招いてなわとび指導を行いました。14のギネス記録をもつ先生の指導で、多くの児童が上達することができました。6年生が親子行事を行いました。内容は白熱のドッジボールと、ほのぼののクリスマスリースづくりでした。ありがとうございました。



読書名人、なわとびチャレンジ、安全マップ、いじめ防止関連制作物などを廊下に掲示しています。各クラスのいじめ防止スローガンをA Iで要約したところ「みんなの個性を尊重し、優しい心と言葉で絆を深め、笑顔あふれる仲良しのぶっ子」となりました。日々心がけてほしいと思います。

「ねこはいきいき」担任をしていた頃、冬休み前に子供たちにこの合い言葉を伝えました。これは、冬休みに特に気を付けてほしいことを覚えやすくまとめたものです。
ね：ネット（インターネットの安全な使い方） こ：交通事故（道路横断の仕方、ヘルメットの着用）
は：早寝早起き朝ごはん（規則正しい生活習慣） い：行ってきます・いつ帰る（外出時の報告と約束）
き：危険箇所（危ない場所には近づかない） い：イノシシ（野生動物や自然の中での注意）
き：金銭管理（お金の使い方に気を付ける）
この合い言葉を心に留め、冬休みを安全に過ごして、3学期に元気な姿で会えることを願っています。

詩人の谷川俊太郎さんが、11月13日に老衰でお亡くなりになりました。92歳でした。谷川さんの詩は多くの人に親しまれ、教科書にも数多く掲載されています。たとえば、小学3年生の国語で学ぶ「どきん」、6年生で出会う「生きる」、そして小学2年生で習う「スイミー」の翻訳も谷川さんの手によるものです。
私は中学校で技術家庭科や柔道部の指導に長く携わってきました。小学校勤務を命じられた際、担任した6年生に「生きる」を教えたことが、谷川さんの詩に深く触れる最初の経験でした。そのクラスが卒業するとき、式場にオリジナルの「生きる」の詩を大きく掲示したことは、今でも忘れられない思い出です。
また、谷川さんの詩を調べる中で「なんでも〇〇〇〇」という作品に出会ったとき、その素直で率直な表現にびっくりしました。「なんて純粋な人なんだ」「天才なんだな」と思ったものです。
生涯で数千もの詩を生み出した谷川さんは、晩年になっても創作意欲を失わず、2016年からは朝日新聞で月に一度、新作を発表していました。その最後の作品は、11月17日に発表された「感謝」です。谷川さんが亡くなった後に公開されたこの詩には、生きることへの感謝が綴られています。
「目が覚める」「まだ生きてるんだ」と始まり、三連目では「どこも痛くない」「痒くもないのに感謝」「いたい誰に？」と問いかけます。そして最後は「分からないが」「感謝の念だけは残る」と締めくくられます。死後の世界がどうなるかはわからないけれど、「感謝」の念だけは残る——この確信に、深い感動を覚えます。

